

**レコサルを用いた「エコサルファー防食工法」の下水道分野へ本格展開！  
～(財)下水道新技術推進機構による建設技術審査証明を取得～**

記者各位

株式会社大林組(本社:東京都港区港南二丁目、社長:脇村典夫)と新日本石油株式会社(本社:東京都港区西新橋一丁目、社長:西尾進路)は、レコサル(改質硫黄固化体)の下水道分野への本格展開を図るため、※1エコサルファー防食工法の建設技術審査証明(下水道技術)を2006年3月1日、両社で取得しましたのでお知らせいたします。

今回認定された技術内容は、下水道事業団が規定している最も腐食環境の厳しい※2D2種の環境において、コンクリートの被覆材として十分な品質を有しているというものです。審査証明内容は自治体が下水道工事を発注する際の指標となるものです。

今回この審査証明を得たことで、神戸市垂水処理場汚泥濃縮棟改築工事に防食被覆工法が採用されました。

記

工事名:垂水処理場 汚泥濃縮棟改築工事(土木)のうち防食被覆工法(後貼り工法)

発注者:神戸市建設局

防食施工面積:約170平方メートル

竣工:2006年7月



レコサルを用いたエコサルファー防食工法



施工後の神戸市垂水処理場汚泥濃縮棟

※1 本工法はこれまで東京都下水道局との共同研究(改質硫黄固化体の耐腐食性調査に関するノウハウ+フィールド提供型共同研究)において数件の試験施工を経て、建設技術審査証明取得に至っております。

※2 日本下水道事業団が分類した下水道の防食工法規格の中で最も厳しいものです。年間平均硫化水素濃度が50ppm以上でコンクリート腐食が極度に見られる腐食環境にあり、かつ点検、補修が難しい箇所の施工に適用されます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

|                                              |                                               |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 株式会社大林組<br>東京本社 広報室<br>報道グループ グループ長 石井、高橋、倉成 | 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟<br>TEL:03-5769-1014 |
| 新日本石油株式会社<br>広報部広報グループ 東條                    | 東京都港区西新橋1-3-12<br>TEL:03-3502-1124            |

